# 自己紹介

榊原祐子　さかきばらさちこ

ピアニスト
名古屋音楽大学講師

一般社団法人
日本チェコ楽友協会
代表理事

# 第二回　大人の音楽室

～楽譜を読むとは、どういったことなのか～

①楽譜とは？
②楽譜から何を読むの？
③「音程」に意味がある
　　チャレンジ！ バッハ作品解読
④まとめ

# 楽譜とは？

演奏に必要な音情報の記録メディア

記号を用いて、作曲家が音楽を書き残したもの

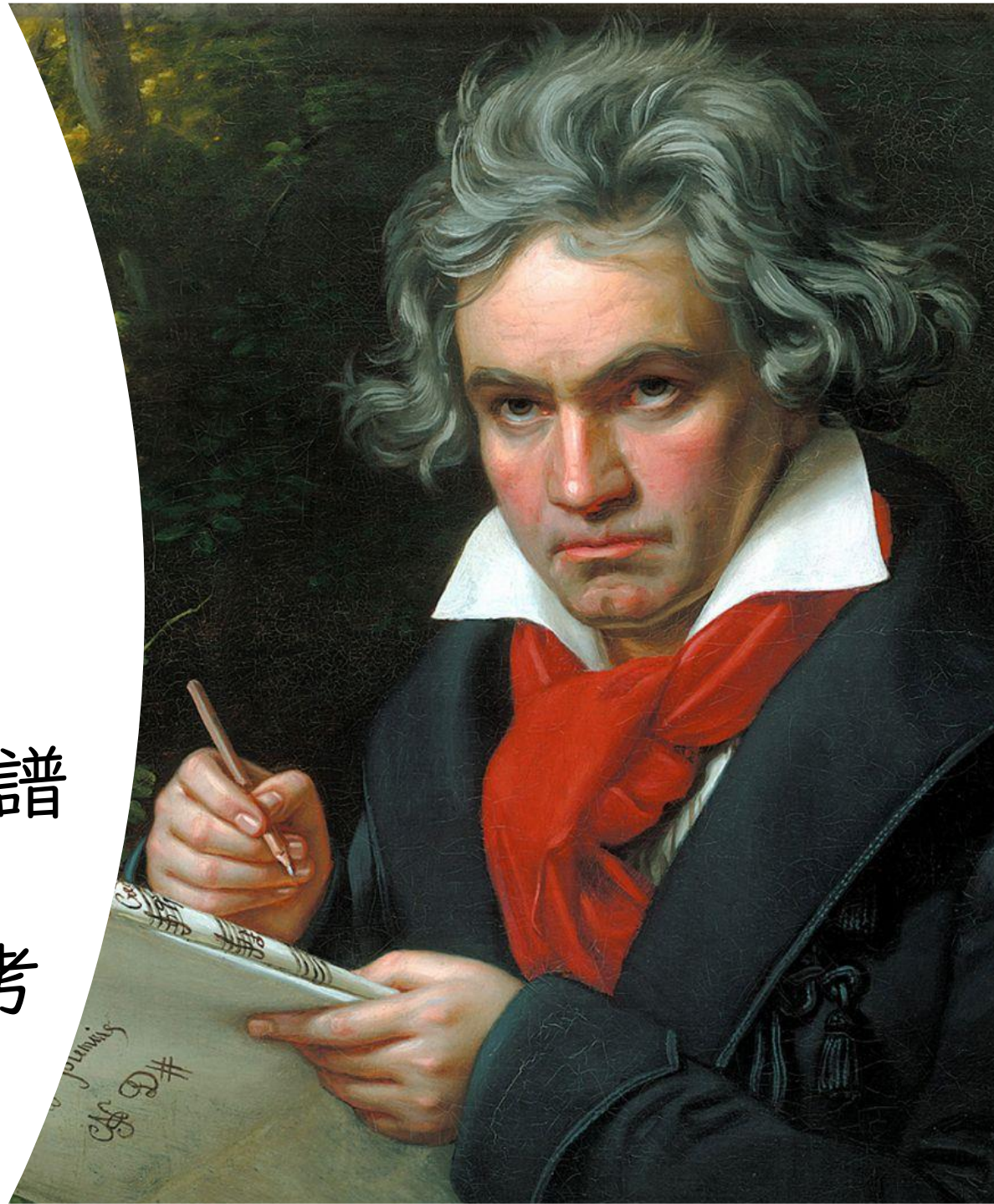
# 楽譜ってどうして必要なの？
# クラシック編

クラシック音楽＝再現芸術

全ては楽譜から始まる

作曲者が言いたかったことを楽譜からくみ取って表現する

作品のスタイル・キャラクターを考察して表現する

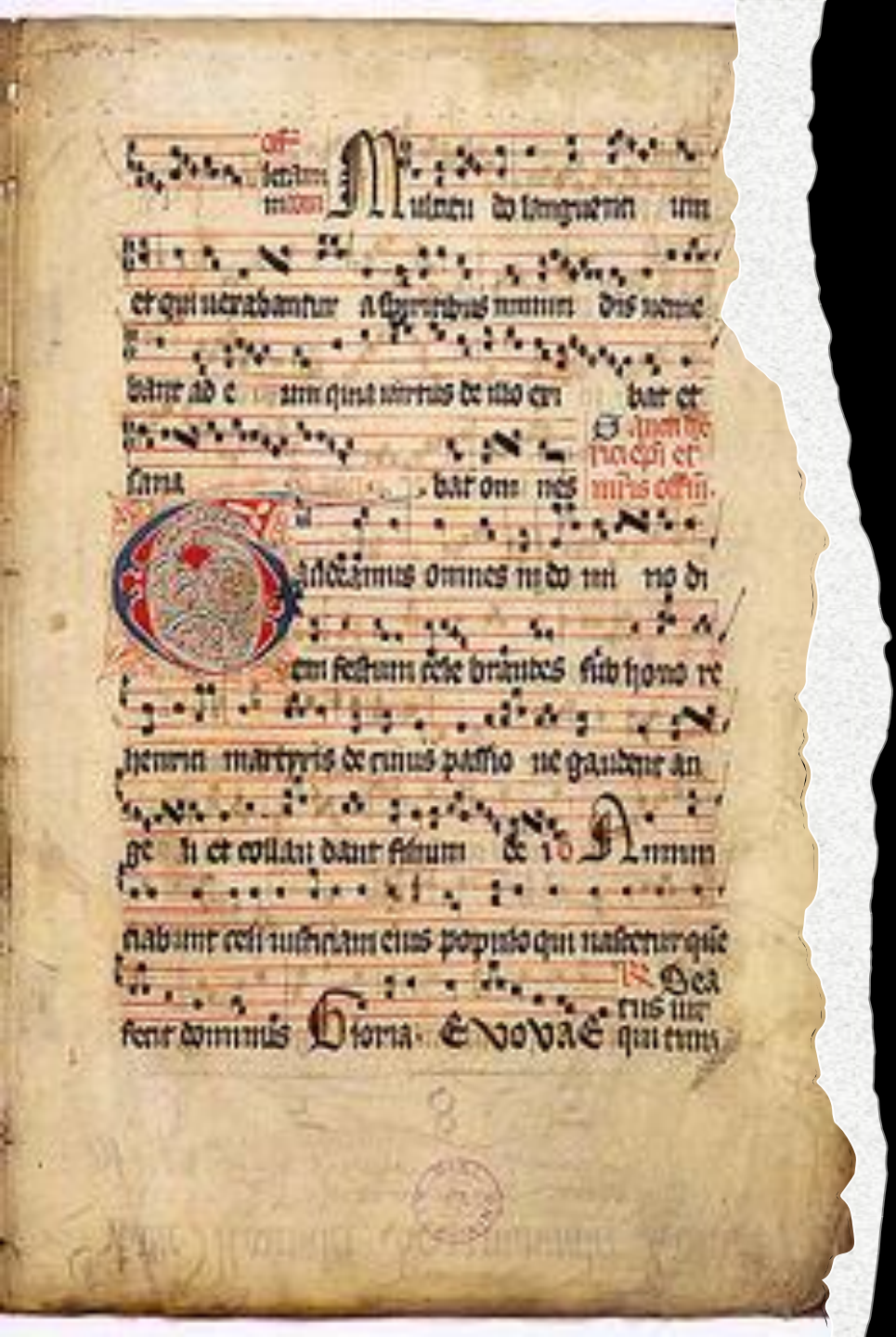


# 楽譜ってどうして必要なの？　ジャズ編

ジャズ＝アドリブ即興

楽譜は覚書

リズムとハーモニー（コードネーム）
　を共有しつつ、無限にメロディーを
　即興で紡いでいく

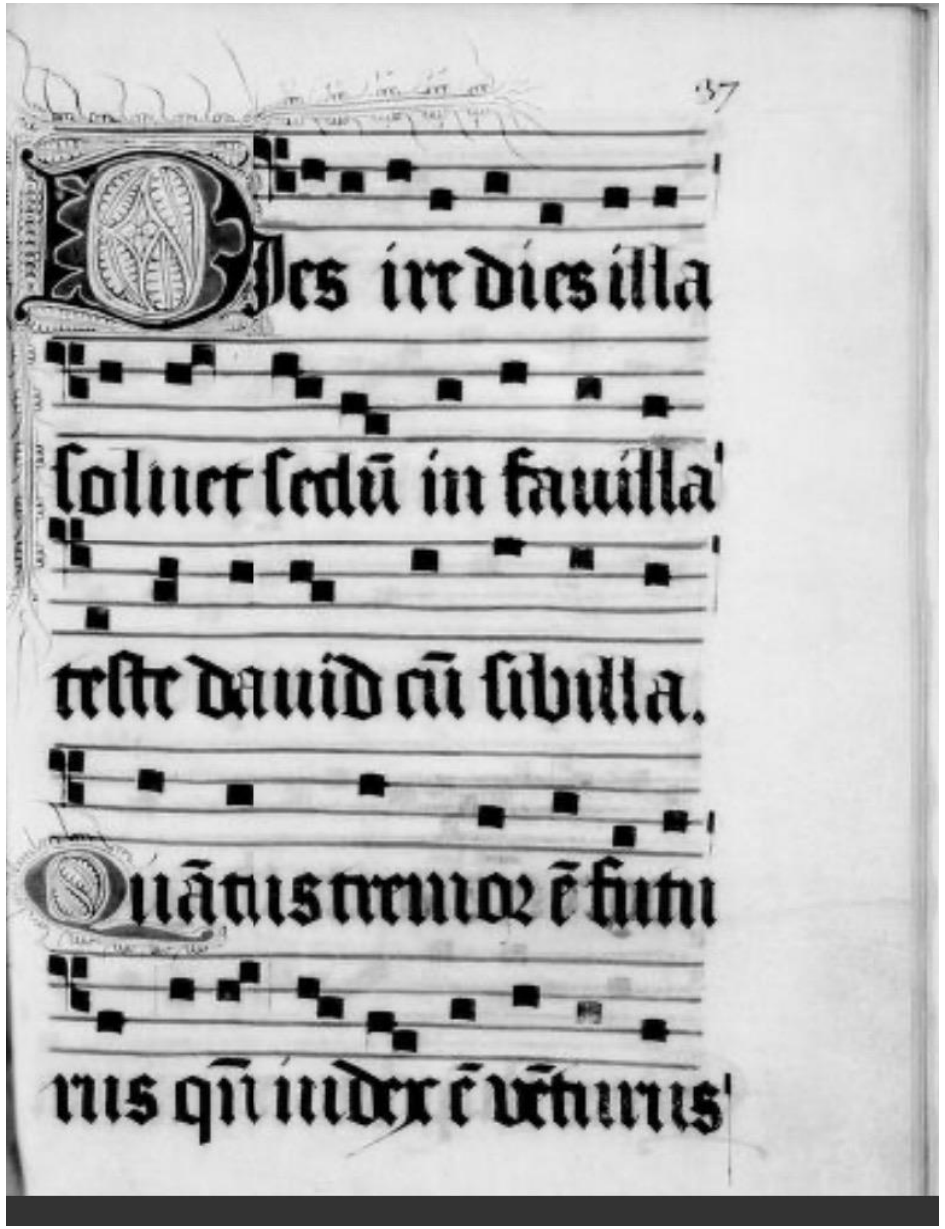


# 楽譜の進化

# 楽譜の進化①

## 9世紀頃～

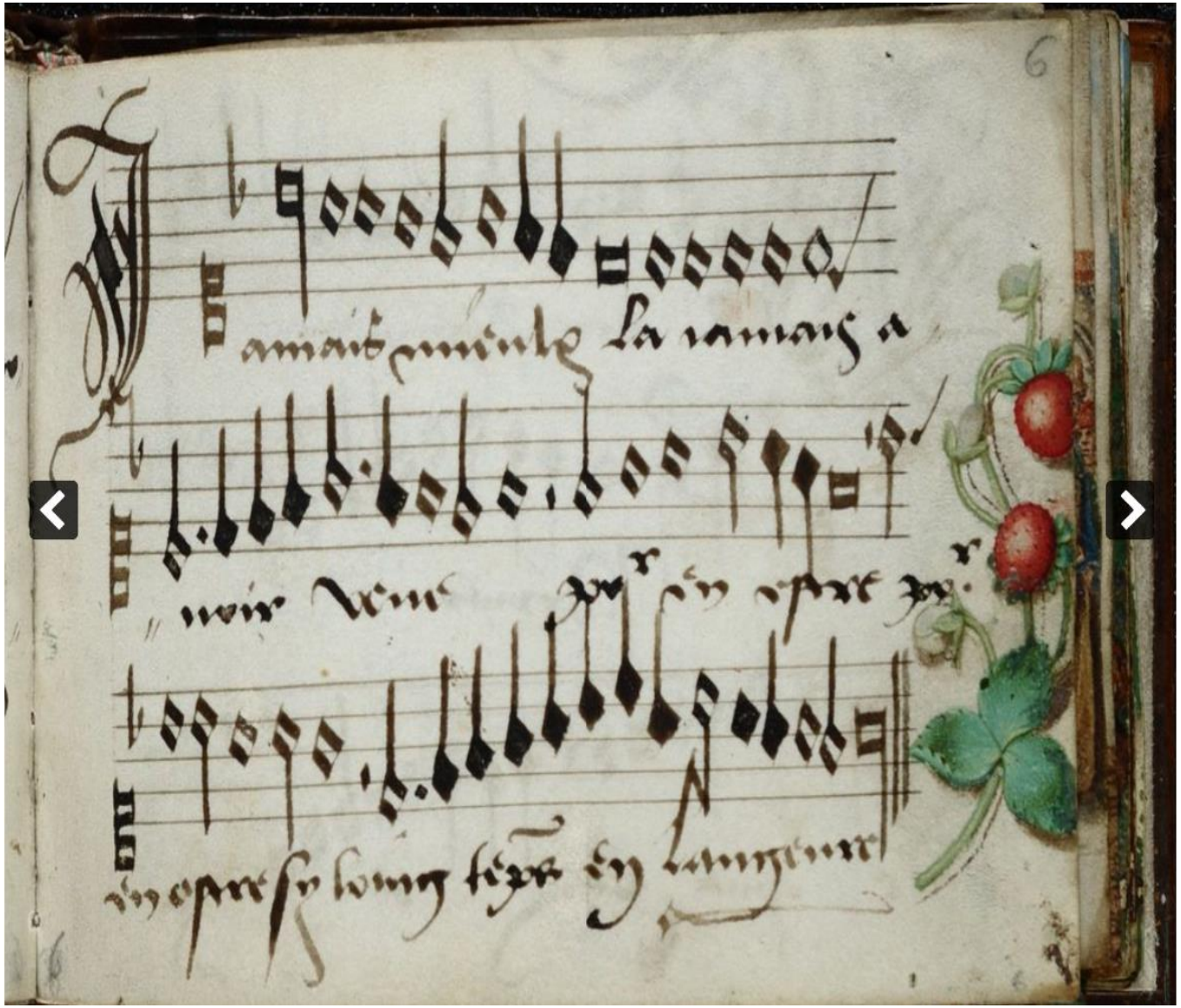
フランス国立図書館所蔵



# 楽譜の進化②

ネウマ譜
＜譜線あり＞
13世紀頃～

フランス国立図書館所蔵



# 楽譜の進化③

＜音の長さ表記あり＞
14世紀頃～

ブリュッセル王立図書館所蔵

# 作曲スタイルの変化 と楽譜

バッハ以前 神と教会のために作曲 自作自演

バッハ～ 弟子や家族のためにも 書き残す

モーツァルト 王族貴族から 受注制作

ベートーヴェン～ 分業制の確立 興行の始まり

# 楽譜から何を読むの？

＜読む＞

音の高低･長さ（音価）　速度標語　拍子
調性

メロディ　ハーモニー　リズム

＜考察して解釈する＞　テンポ　フレーズ　構成
キャラクター

## ～考察のカギ～　楽譜以外にも情報源がある？！

作曲家の伝記（生まれ、育ち、家族、人生の節目となる出来事、病気など）

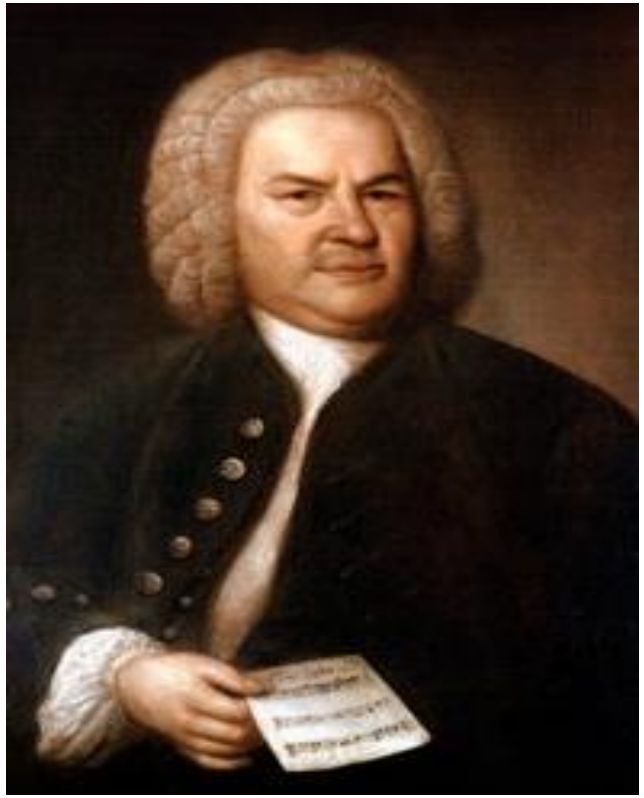
歌曲、オペラ、合唱曲の歌詞や、オーケストラなど編成の異なる作品のサウンド

政治・歴史・宗教　　美術・建築　　風習・慣習（服装、交通、照明、筆記用具）

文学・詩　　言語　　舞踊

数学・物理的な要素（四則混合、放物線、比例、ベクトル）　　など

# 音楽の父　バッハの作品



「聖書」の言葉や思想を音楽で伝える

「音程」に意味がある

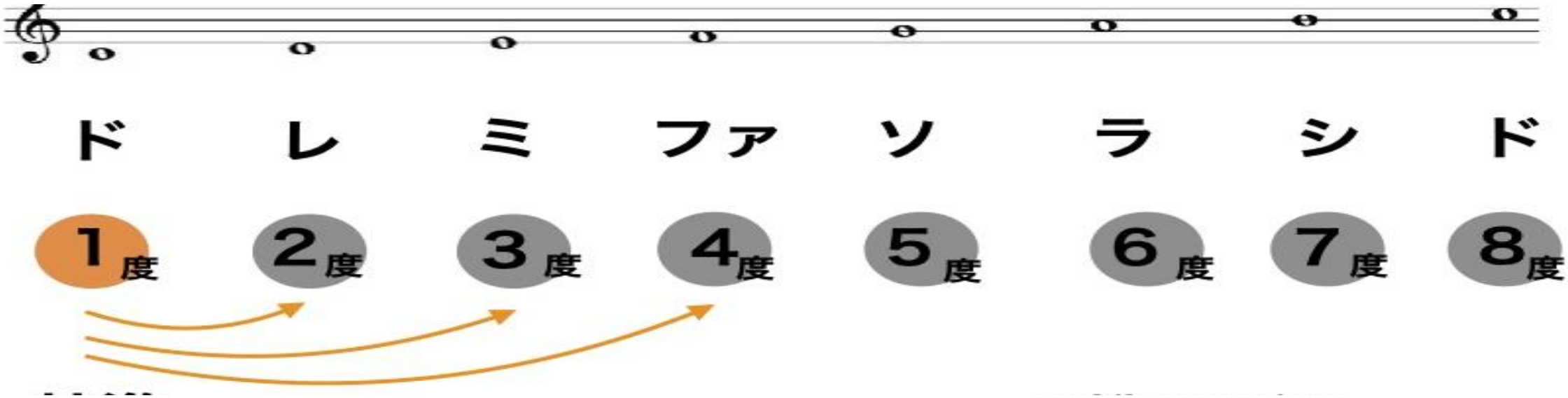
後世作曲家のお手本

# 「音程」に意味がある

## チャレンジ!バッハの作品解読

音程（音の隔たり）から意味を紐解いてみる→資料参照

# 音程の数え方　「度」

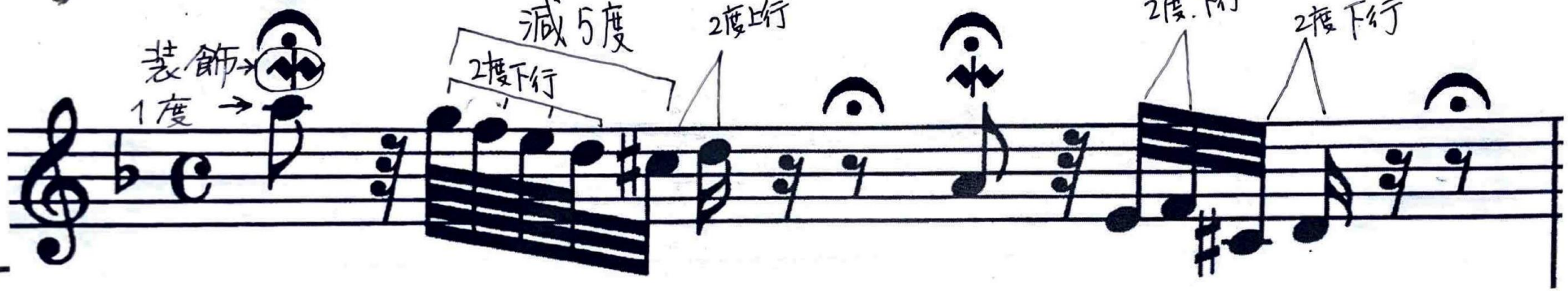


# チャレンジ! バッハの作品解読

拡大版

譜例①

**Adagio**



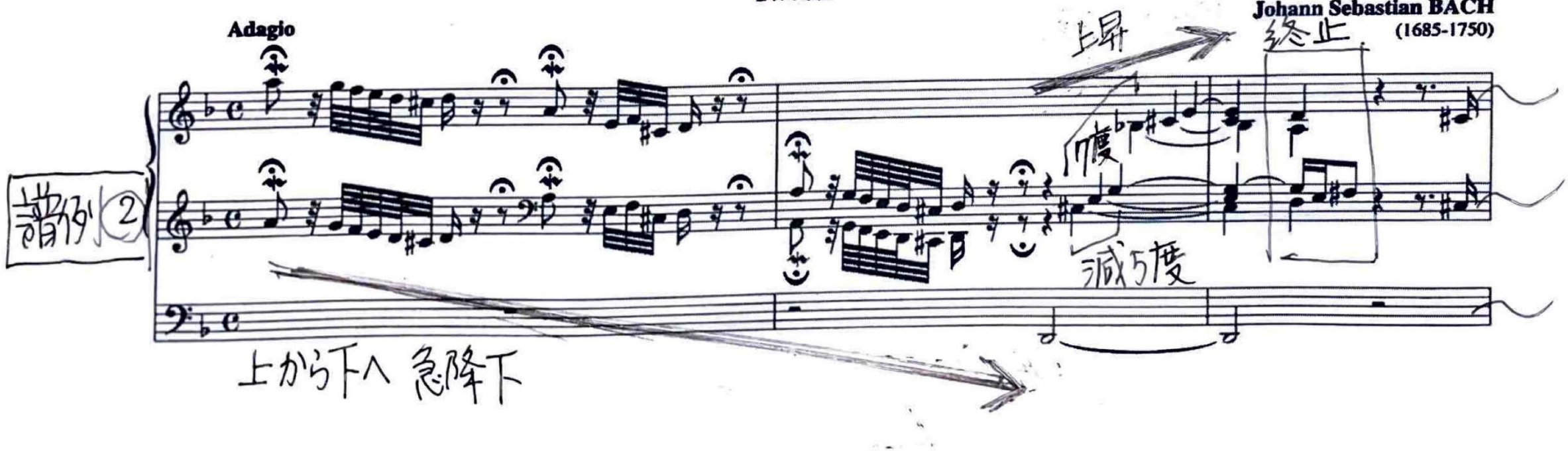
トッカータとフーガニ短調から

# Toccata（冒頭）

BWV 565

Johann Sebastian BACH
(1685-1750)

譜例(2)



# 音程の意味　早見表

| | | | |
|---|---|---|---|
| 一度 | 静止　太陽　すべてが始まる | 五度 | オープン　手を差し伸べる<br>減五度:増四度:嘘　ひずみ　罪　悪 |
| 二度 | 一歩一歩歩く　　道　神へとちかづく道<br>上行:おねがい　懇願　　下行:痛み　涙 | 六度 | 最高の美しさ　神の許し<br>二つの三角形が交わる六角形 |
| 三度 | 三位一体　調和<br>三角形　神と人と人が知り合う | 七度 | 神が造った一週間７日　　飽和<br>めいっぱい |
| 四度 | 十字　信頼　神格化　アーメン<br>増四度:嘘　ひずみ　罪　悪 | 八度 | ∞　無限大　一度と同じく常に始まり |

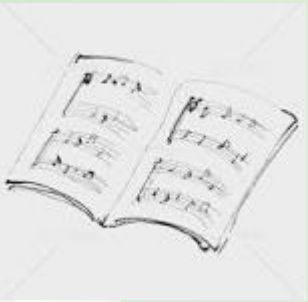
終止(解決):神に許しを得る　神に到達する

# 音程のほかにも・・・

リズム
ハーモニー
構成
強弱
調性　など

# 第二回　大人の音楽室

## ～楽譜を読むとは、どういったことなのか～



読む・・楽譜にかかれている情報を再現

読みとる・・音楽的要素、音楽以外の要素から
作品を考察・解釈して表現する
アンテナを張って作曲家の声に耳を傾ける